

**製品名: CIS ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08823**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	CISH G18
別名	Cytokine-inducible SH2-containing protein (CIS;CIS-1;Protein G18;Suppressor of cytokine signaling;SOCS)
遺伝子 ID	1154.0
SwissProt ID	Q9NSE2
免疫原	AA 範囲: 30-90 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

**背景**

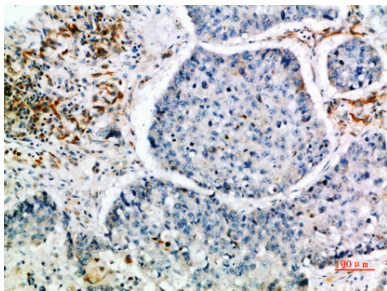
サイトカイン誘導性 SH2 含有タンパク質(CISH) Homo sapiens この遺伝子によってコードされるタンパク質は、SH2 ドメインと

SOCS ポックスドメインを含む。したがって、このタンパク質は、サイトカイン誘導性 STAT 阻害因子(CIS)、別名サイトカインシグナル伝達抑制因子(SOCS)または STAT 誘導性 STAT 阻害因子(SSI)タンパク質ファミリーに属している。CIS ファミリーのメンバーは、サイトカイン誘導性サイトカインシグナル伝達の負の調節因子として知られている。この遺伝子の発現は、造血細胞において IL2、IL3、GM-CSF および EPO によって誘導され得る。このタンパク質のプロテアソーム媒介分解は、エリスロポエチン受容体の不活性化に関与することが示されている。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見出されている。[RefSeq 提供、2008 年 8 月],疾患: 肺腫瘍および腎腫瘍では 3p21.3 欠失が頻繁に認められることから、CISH 欠失は腎細胞癌および肺癌の病態に関与している可能性がある。機能: SOCS ファミリータンパク質は、サイトカインシグナル伝達を制御する古典的な負のフィードバックシステムの一部を形成する。CIS は、エリスロポエチン、プロラクチン、インターロイキン 3 (IL3) 受容体など、JAK-STAT5 経路を介してシグナル伝達するサイトカインの負の制御に関与する。STAT5 のチロシンリン酸化を抑制することで、STAT5 のトランス活性化を阻害する。SCF のような ECS (Elongin BC-CUL2/5-SOCS-box タンパク質) E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼ複合体の基質認識コンポーネントである可能性があり、標的タンパク質のユビキチン化とそれに続くプロテアソーム分解を媒介します。誘導:エリスロポエチン (EPO) を含むサイトカインのサブセットによって。経路:タンパク質修飾; タンパク質ユビキチン化。PTM:EPOR との関連により、ユビキチン依存性プロテアソーム経路によるタンパク質分解の標的となる可能性があります。CIS は主にモノユビキチン化 (37 kDa) されていますが、ポリユビキチン化 (45 kDa) されている場合もあります。類似性: 1つの SH2 ドメインを含みます。類似性: 1つの SOCS ポックスドメインを含みます。サブユニット: チロシンリン酸化 IL3 受容体  $\beta$  鎖およびチロシンリン酸化 EPO 受容体 (EPOR) と安定的に結合しています。組織特異性: 様々な上皮組織で発現します。肝臓と腎臓で豊富に発現し、肺では少量発現します。アイソフォーム 1 と 1B の組織分布は異なります。

## 研究分野

ジャク\_STAT;

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された